

# 譜樂撰大

第百六十三篇

(獨唱)

花の帝

(獨唱及二部合唱)

白い蝶

(二部大合唱)

昭和の大御代

(二重唱)

ひなげし



主幹 原田結城  
編 成樂會

## 成樂會樂譜四月號目次

(全体特別技術講習會より)

- ◎ 中巻 樂譜 (十五錢)
- ◎ 二重唱の心 ○ 奏唱又は獨唱
- ◎ 小巻 樂譜 (十五錢)
- ◎ 幼年唱奏 (十五錢)
- ◎ 少年唱奏 (八錢)
- ◎ 少年男女唱奏又は獨唱唱和獨唱
- ◎ 少年樂譜 (十錢)
- ◎ 大衆歌曲行け海外へ

◎ 成樂會は大正七年春主幹原田結城が静岡師範学校教諭時青年勸進大演習時代の撰法でありまして引き続き今日まで一編十編の回数続いた。きまとして多忙をます一方で採録して受つてなるものであります。

◎ はじめ月刊で新譜撰集と申ことしたしの一編目を出して今日では大巻、中巻、小巻、三巻、遊戯、少年、唱和、少年、少年、少年の十種を出すつうになりまして、全く新編の撰法はなりました。只今中巻幼年唱奏と少年唱奏の二編を合せてあります。

◎ ついてはまず、成樂會の撰法の方分の一にをひいていふべきであります。成樂會の撰法は、

◎ エアノ楽名曲集にも出版三版と取次ぎと二百五十種ばかり取扱つてあります。其他學校音楽のためになりましてやうにいろいろの楽名集と致してあります。評議をエロカ是非に前高城に入れたく切歌の至りでありまして、その少くを

昭和三年四月一日印刷  
昭和三年四月五日發行

印刷者 成樂會  
印刷所 成樂會  
印刷所 成樂會



印刷者 成樂會  
印刷所 成樂會  
印刷所 成樂會



白い蝶

富原義徳詩

ちら／＼あかいひなげしが

白い蝶々にいひました

「あなたが王子さま わたくしが

姫さまだつたら さうしたら

さつき花さく ひるひなか

みどりのかせに をごろもの」

ちらちらあかいひなげしに

白い蝶々はいひました

「あなたはあなたは 赤いけし

わたしはわたしは 白い蝶

つきがみどりにけぶる夜に

ほんとにほんとにをごろませう」

白い蝶々はひらひらと

風に吹かれていきました

さつき花さくひるひなか

みどりのなかをいきました

昭和の大御代

大童信蔵作歌

1

み空を仰げば瑞雲たなびき

見渡す山河 緑あらた

世界にかゝやく我が日の本の

その名をあぐべくふるひたゝん

くにたみ はらから 覺悟いかに

雄心かためて たてや友よ

昭和／＼／＼

昭和の大御代ぞ

2

明治の維新も六十路をすぎて

昭和の戊申は 今や來たる

聞かすや九天雲井をかける

蛟龍いつまで地中に棲まん

くにたみ はらから 意氣はいかに

雄心かためて たてや友よ

昭和／＼／＼

昭和の大御代ぞ

ひなげし

(タキモ民謡)

津川圭一詩

1

紅のはな

ひなげしは咲きぬ

朝つゆにぬれて

ほのかに笑みつ

天國のすがたを

さながらうつし

あはれ この世をば

なれば飾る

2

うれひに沈む

人の子の胸に

たのしき調べを

おくるひなげし

みくいの姿を

さながらうつし

あはれ この世をば

汝はかざる